

世界有数のATメーカーとして 人にやさしいクルマづくりに貢献。

愛知県安城市に本拠を置くアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（以下、アイシン・エイ・ダブリュと略す）は、1969年の設立以来、質の高いオートマチックトランスミッション（AT）の開発/生産に努め、現在では15カ国25社にATを納入する世界有数のメーカーとしての地位を確立しています。同社の高い技術力は、カー・ナビゲーション分野においても発揮され、1992年には世界初の声で操作できるボイス・ナビゲーションを開発。「品質至上」の経営理念のもと、魅力ある製品づくりで国内外の自動車メーカーのニーズに応えています。



トヨタセルシオ向
DVDエレクトロマルチビジョン(ナビ)



トヨタセルシオ向
FR5速オートマチックトランスミッション

競争力をさらに高めるために 「ACTIVE21」プロジェクトを推進。

近年、インターネットの発展を背景に、グローバル購買に代表される新しいビジネス・モデルが出現しています。アイシン・エイ・ダブリュでは、このような状況に対し、ビジネスのスピードと品質をさらに高めるため、1999年10月、「ACTIVE21[®]」プロジェクトに着手。21世紀のビジネス・システムの礎となる情報インフラの整備を進めています。情報システム部 部長 服部 一朗氏はこのプロジェクトのめざす姿について次のように語っています。「最終的には、どのような工程、設備、コストで、生産が行われているのか、迅速に現状がわかるようにしたい。そうすれば、何か問題が起こった際にも素早く対応できる。そのためには開発から、生産、販売にいたる工程で発生する情報を一元管理し、部門にかかわらず誰もがアクセスできる環境をつくらなければならない。また、情報を共有することで、業務の効率化にもつながる。社内だけでなく、仕入先を含めた全体最適を実現する、ITを活用した業務改革であると位置づけています」

※ Advanced system for Collaboration To Improve Value of Enterprise 21:
次世代 (21世紀) 高度基幹情報システム

部品仕入先とのやりとりを 紙からデジタルへ。

「ACTIVE21」プロジェクトを具現化するためのインフラ再構築は、2000年5月より開始されました。まず部品仕入先との連携を強化するため、2001年5月に手書き伝票のEDIがスタート。紙による煩雑な作業を効率化しています。また同時期に、部品を製造する際の工程を示した工程設計総括表を紙からデジタル・ベースに移行。仕入先はアイシン・エイ・ダブリュのデータベースにインターネットを介してアクセスし、データの登録、参照、再利用が行えるようになりました。「我々はATを商品として供給する上で、すべての工程、品質、原価はどうなっているのか、把握していなければならないと思っています。部品仕入先の情報管理は、そのような観点から必要です。仕入先にとっては、紙ベースでのやりとりの煩雑さがなくなり、アイシン・エイ・ダブリュのデータベースを自社のシステムのように利用できる点がメリットです」(服部氏)



情報システム部 部長 服部一朗氏

S/390の既存資産をもとに拡張。 WebSphere[®]でe-business仕様に。

アイシン・エイ・ダブリュは、IBMのメインフレームを約30年使用してきました。「ACTIVE21」プロジェクトは、そのS/390上に蓄積された既存資産を利用して拡張を図り、データの一元管理を実現する方針です。また、社内や仕入先などのクライアントには特別なソフトウェアをインストールしなくても済むように、OS/390[®] WebSphereを利用してWeb対応を実現しています。エンド・ユーザーはWebブラウザから必要なデータにアクセスできるわけです。基幹業務を担ってきたS/390に先進のWeb技術がプラスされ、信頼性と柔軟性を両立させたシステムとなっています。

IBM[®] eServer

zSeries

e-business

— お客様事例 —

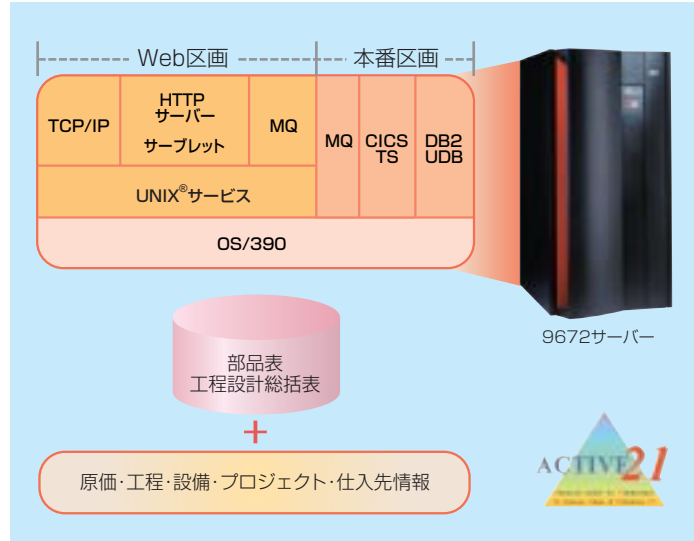
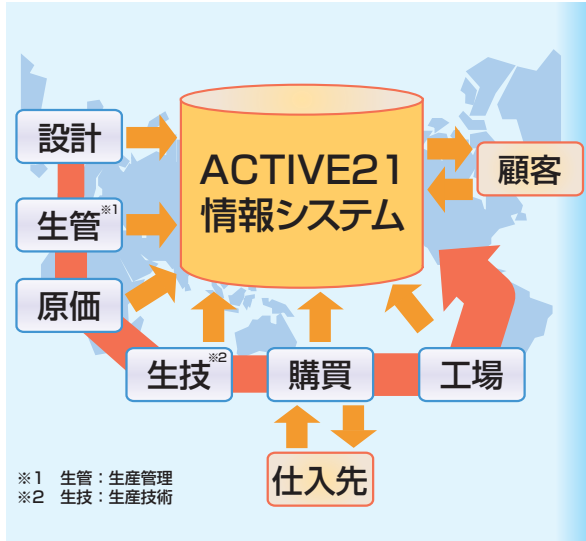
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社様

部品表を中心とした
「一気通貫」の情報流通へ。
核になるのはS/390[®]とWeb技術。

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社ホームページ
<<http://www.aisin-aw.co.jp/>>

- 世界有数のATメーカー
- 「ACTIVE21」プロジェクトを推進
- 部品仕入先とのやりとりをデジタル化
- S/390の既存資産をもとに拡張
- 大規模プロジェクトを支える
IBMのサポート
- S/390を中核に次世代インフラへ

「ACTIVE21」プロジェクトのめざす業務プロセスの全体最適



大規模プロジェクトを支える IBMのサポート。

「ACTIVE21」プロジェクトは、アイシン・エイダブリュの情報システムの歴史から見ると、最大規模のプロジェクトだといえます。服部氏はIBMのサポートについて次のように述べています。「今回のプロジェクトは、IBMの全面的なバックアップにより進めています。ITに関する知識、スキルはもちろんのこと、多くのチームが携わる大プロジェクトをまとめあげるプロジェクト管理能力の高さに感謝しています」

適用業務

S/390の既存資産を活用し、Web対応の次世代インフラに拡張

ソフトウェア

OS/390、WebSphere、CICS®、DB2 Universal Database™、MQSeries®

ハードウェア

S/390並列エンタープライズ・サーバー (9672)

部品表を整備し、関連情報を紐つけ。S/390を中核とした次世代インフラへ。

開発から生産、販売までを行うメーカーとして、アイシン・エイダブリュの業務の大半は部品にかかわり、情報の要は部品表となります。同社では現在、設計/試験段階の設計部品表と、量産体制以降に必要な製造部品表がデータベース化されていますが、その間に工程や仕入先、設備を示す生産準備部品表は紙でやりとりされていました。そこで今後、既存のデータベースとの整合性をとるため、生産準備部品表をS/390データベース上に追加し、情報の流れを円滑にすることで業務の効率化を図る予定です。将来は、整備された部品表に、工程、設備、コスト、仕入先の会社情報などさまざまな情報を紐つけ、「そこにアクセスすればすべてがわかる、まさに“一気通貫”のシステムにするのが最終的な目標」(服部氏) だといえます。アイシン・エイダブリュの仕入先を含めた総合力の強化。S/390の堅牢さにWeb技術が融合した次世代のインフラが今後とも活かされていきます。

高スケーラビリティ、アプリケーションへの柔軟な対応、64ビット・アーキテクチャーのエンタープライズ・サーバー
IBM @server zSeries

IBM @server zSeries関連製品の詳細情報については、IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/servers/eserver/zseries> をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、またはダイヤルIBM (☎ 0120-04-1992) へ。
受付時間：月～金 9:00～18:00 (祝日、12/30～1/3を除く)

携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 044-221-1522
この場合、通話料金はお客様のご負担となります。

IBM、CICS、DB2 Universal Database、e-businessロゴ server、MQSeries、OS/390、S/390、WebSphere、zSeriesは、IBM Corporationの商標。
UNIXは、The Open Groupがライセンスしている米国およびその他の国における登録商標。
他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
01-02 Printed in Japan

●このカタログに使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
●仕様は事前の予告なしに変更することがあります。
●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。



G 5 8 8 - 2 1 9 8 - 0 0